

令和6年度 文京区立柳町小学校 授業改善推進プラン 1年

	育てたい力	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> 文章を正しく読み、内容の大体を捉えること。 経験したことや想像したことから書くことを見付け、自分が伝えたいことを表現すること。 行動したことや経験したことに基づいて、事柄の順序を考えて話すこと。 話の内容を考えながら聞くこと。 平仮名や片仮名を、正しく読んだり書いたりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業や家庭学習で、繰り返し音読をさせる。題名や挿絵などを手掛かりにした指導をし、内容の大体を捉えられるようにする。 学習計画を立てて見通しをもたせたり、書き方の例文を示したりすることで、相手を意識して伝えたいことを表現しようという意欲付けを行う。 ペアや少人数グループで対話することで、伝えたい事柄やその順序を明確にする。 相手の言いたいことは何かを考えながら聞くようにする。 日常的に書く機会を設け、書くことに慣れるようにする。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 具体物を用いて、数の感覚を豊かにすること。 加法及び、減法の意味を理解し、用いることができること。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体物やブロックなどの半具体物を用いて考えさせることで、個数や順番を正しく数えたり表したりする。 具体物・半具体物の操作、図・式で表現という手順を踏むことで「あわせて」「みんな」「のこり」「ちがいがい」等の言葉の意味を実感させ、加法や減法の計算方法を身に付ける。
生活	<ul style="list-style-type: none"> 自分の身近な人々、社会、自然との関わりに気付き、自ら働きかけていこうとすること。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校探検や植物の栽培・観察、幼稚園児との交流など具体的な活動や体験などを通して、学ぶ機会を設ける。 活動を通して気付いたことや楽しかったことを、言葉や絵、動作など多様な方法で表現し考えることができるようにする。
体育	<ul style="list-style-type: none"> 簡単なきまりや活動を工夫して各種の運動を楽しむことができるようにするとともに、その基本的な動きを身に付け、体力を養うこと。 誰とでも仲よく活動し、健康・安全に留意して意欲的に運動をする態度を育てること。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しんで活動しやすいように児童の実態にあった場の設定をする。 動きをイメージしやすいような言葉やルールを取り入れる。またリズムに乗って体を動かすことで楽しさを感じられるようにする。 友達のよい動きを見付け声を掛け合う機会を増やすために、交流の場を設け、互いに声をかけ合っ活動できるようよい動きや声かけの例を示す。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の気持ちを想像し、表現すること。 これまでの自分を振り返ったり、物事を多面的・多角的考え、自己の生き方について考えたりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> 中心となる発問を設定し、登場人物の気持ちになって考えることができるようにする。 ワークシートなどを活用して、じっくり考える時間を確保する。 意見がもてない時は、友達の発言から「同じ」や「似ている」、「違っている」など自分の考えを表現できるようにしていく。

音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わうことができるようにすること。また、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養うこと。 ・音楽表現に必要な技能を身に付けること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音や音楽の出合いを大切に、音楽を形づくっている要素を聴き取り、言葉や体の動きなどで表現したり比較したりしながら音楽経験を積み重ねていく。その際、友達と共有したり共感したりできるようにする。 ・くり返し音楽を聴いたり体を動かしたりしながら、楽曲に親しみ音楽を聴く楽しさを味わえるようにする。 ・歌詞や曲の感じからどのように表現を工夫し、どのように歌ったり演奏したりするのか、常に問いかけ、一人一人が思いをもてるようにする。低学年では特に「拍感」が育つように体を動かす活動を取り入れる。 ・友達と関わりながら声や身の回りの音などを通し、音遊びに親しめるようにする。
図工	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく表したり見たりする活動に取り組み、作り出す喜びを味わうこと。 ・造形活動を楽しみ、豊かな発想をするなどして、材料や用具を用いたり、手や体全体の感覚や技能などを働かせたりして、表現すること。 ・身の回りの作品などから、面白さや楽しさを感じ取るようにすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲が持続できるような内容を設定する。 ・技能面に関しては、図や実演などで示す。また、個別に指導する必要がある場面を見落とさないように、常に全体を見ながら気を付けて指導する。 ・自分の作品のよさに気付かせ、自信をもたせる。また、友達の作品のよい点などを見付ける交流の場を設ける。